2016年度の作品収集

昨年度は106件の寄贈（内訳は右の表の通り）を受けました。今後の展示、調査研究などに活用をはかって行きます。引き続き皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄贈作品	件数
伊勢崎淳《備前　茶盌》他	28
《祀三公山碑拓本》（写真①（部分））	1
山岡鉄舟　扁額《寿百康》	1
赤松麟作《自画像》他	68
《洛中洛外図屏風》他	2
《花唐草刻文石棺》	1
《銅造玄天上帝像》	1
《天龍山　文殊菩薩頭部》	1
今尾景年《宇治製茶図》他	2
生田花朝《春の絵馬堂》（写真②）	1
計106件	

①「多彩なる隷書―漢の石刻」
9/2～10/1において公開予定。

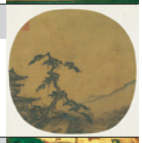
②

所蔵作品の貸出

他館への貸出を予定している当館所蔵作品です。
展示期間など詳細は各施設にお問い合わせください。

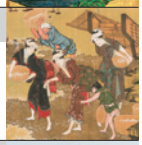
《豊臣秀吉像》
栃木県立博物館（宇都宮市）
2017年9月16日（土）～10月29日（日）
「中世宇都宮氏―頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族―」

《名賢宝絵冊》のうち3葉
サントリー美術館（東京都）
2017年9月16日（土）～11月5日（日）
「天下を治めた絵師　狩野元信」

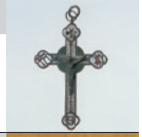


狩野派《四季花鳥図屏風》ほか　計4件
ウフィッツィ美術館（イタリア）
2017年10月3日（火）～2018年1月7日（日）
「花鳥風月―屏風・襖にみる日本の自然―」

重要文化財 葛飾北斎《潮干狩図》
あべのハルカス美術館（大阪市）
2017年10月6日（金）～11月19日（日）
「北斎―富士を超えて―」

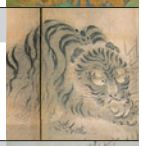


《七宝十字架》
五島美術館（東京都）
2017年10月21日（土）～12月3日（日）
「光彩の巧み―瑠璃・玻璃・七宝―」



伝 仇英《九成宮図巻》ほか　計2件
静岡県立美術館（静岡市）
2017年10月21日（土）～12月10日（日）
「美しき庭園画の世界―江戸絵画にみる現実の理想郷―」

狩野派《龍虎図屏風》
茨城県近代美術館天心記念五浦分館（北茨城市）
2017年10月25日（水）～11月26日（日）
「龍を描く―天地の気」



趙左《竹院逢僧図》ほか　計6件
泉屋博古館 分館（東京都）
2017年11月3日（金・祝）～12月10日（日）
「典雅と奇想―明末清初の中国名画展」

特別展

江戸の戯画―鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで―（仮称）

2018年4月17日（火）－6月10日（日）

太平の世が長く続いた江戸時代には、多くの戯画が描かれました。一口に戯画といっても多種多様なものがありますが、本展では「鳥羽絵」をキーワードとして江戸時代の戯画についてご紹介します。

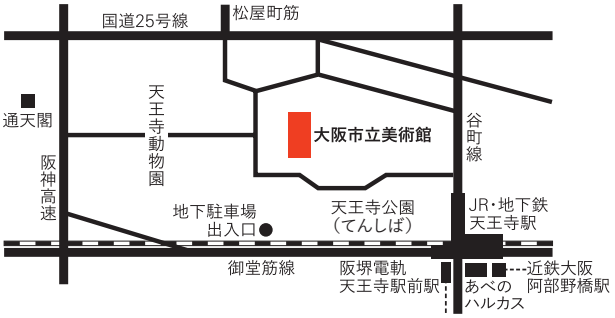
鳥羽絵は、広く戯画や漫画を指す言葉として使われることもありますが、より限られた意味では、江戸時代に流行した軽妙な筆致の戯画を指します。18世紀の大坂では鳥羽絵だけを掲載した鳥羽絵本が出版され、明治に至るまで刊行され続けました。その人気は上方に留まらず、江戸の浮世絵にも影響を見出すことができます。特に北斎が描いた戯画には、鳥羽絵本からの明らかな影響を指摘することが可能です。また広く捉えれば、国芳の戯画もこのような流れに位置づけることができるでしょう。

本展では、18世紀に刊行された鳥羽絵本をはじめ、それを洗練させたとされる大坂の耳鳥斎、鳥羽絵の影響を受けた江戸の北斎や国芳、そしてその流れをくむ暁斎など、時代や地域により変化しながらも、脈々と流れ続ける笑いのかたちをご覧いただきます。この機会に江戸時代の戯画の世界をぜひお楽しみください。

◆表紙作品紹介
《五節句蒔絵手箱》柴田是真
明治時代19世紀　本館蔵（カザールコレクション）
菖蒲太刀（しょうぶたち）に紙兜（かみかぶと）と葵で端午の節句（五月五日）をあらわすなど、五節句にちなむ景物を描いた手箱。金銀蒔絵や螺鈿（らでん）、切金（きりかね）などの技法が映える瀟洒（しょうしゃ）な趣の作品である。

大阪市立美術館 天王寺公園内
Osaka City Museum of Fine Arts
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82
tel. 06-6771-4874　fax. 06-6771-4856
http://www.osaka-art-museum.jp

開館時間＝9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日＝月曜日（ただし月曜日が祝日の場合は翌平日）



交通案内：地下鉄御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または市バス「あべの橋」下車、北西へ約400m